

若い日

目を閉じて

川辺高3年

笠畑ますみ

最近、よく耳にする復興支援ソング「花は咲く」。テレビでは、東北出身の歌手や俳優たちがフリースゴとに情感を込めて歌っている。

画面の中で、女優の鈴木京香さんだけが一輪の花を持ち、目を閉じて数秒間映るシーンがある。私は他の場面以上にこのシーンに心を引かれる。あの数秒間に、私たちは何を感じ取り、何を学ぶべきなのだろうか。

私には、「これから先、

震災のことを忘れずに、時には目を閉じて、静かに故人のことを思い続けてほしい。一輪の花が短い命の間に懸命に美しさを放つように、自分が今ここに存在し、命の輝きを放てる幸せに感謝してほしい」というメッセージを届けているように思えてならない。

目を閉じると、会場一面

去る5月26日、川辺高校の定期演奏会が開催され、「花は咲く」を合唱した。自然と口ずさむ人や、涙を流していらつしやる観客が舞台から見えた。会場が一体となり、何とも言えないあたたかい雰囲気会場を包んだ。

に思いやりの花が咲いているのが見えた。

(南九州市)